

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和4年4月26日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 静岡県伊豆市本柿木1042		
氏名 有限会社 のぼり環境サービス		
代表取締役 稲村 強		
電話番号 0558-72-8009		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	有限会社 のぼり環境サービス 事業所	
事業場の所在地	静岡県伊豆市熊坂305	
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	建設業(土木・左官・とび・土工・石・鋼構造物・舗装・しゅんせつ・水道施設・解体)	
② 事業の規模	総売上高約3億6000万円	
③ 従業員数	21名(正社員 5名、 それ以外の職員16名)	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場で分別(コンクリートがら、ガラス・陶磁器類、廃プラスチック類、廃石膏ボード類、木くず、繊維くず、その他がれき類、廃油、建設系混合廃棄物) →委託処分(中間処理場又は最終処分場) →コンクリートがらの一部は自社重機にて破碎後、重機搬出入のための砕石敷きや、解体後の整地用の砕石として再利用	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 産業廃棄物総轄責任者

各工事現場  
産業廃棄物管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和3年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)  別紙のとおり		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第2面-別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（令和3年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	コンクリートがら	その他がれき類
	排出量	376.025t	24.09t	318.01t	23.16t
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	建設系混合廃棄物
	排出量	5.79t	21.825t	4.698t	67.14t
<p>（これまでに実施した取組）  解体工事において、分別作業を徹底し、有価物として売却できるものや、再利用可能なものを選別することで、廃棄物の発生量の抑制に努めている。</p>					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	コンクリートがら	その他がれき類
	排出量	400t	20t	300t	20t
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	建設系混合廃棄物
	排出量	10t	30t	5t	70t
<p>（今後実施する予定の取組）  分別作業による、有価物や再利用可能な物の選別を引き続き継続する。</p>					
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  解体工事現場において、分別作業を実施し、有価物として売却できるものや、再利用可能なものを選別することで廃棄物の発生量を抑制する。</p>				
②計画	<p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  今後も上記内容を徹底する。</p>				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1500 t	
	（これまでに実施した取組） 重機を導入し、コンクリートがらを細かく破碎し、重機搬出入の為の砕石敷きや、解体後の整地の為の砕石等に有効利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1500 t	
	（今後実施する予定の取組） 今後も同様の手法で、コンクリートがらの有効利用をしていく。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
（これまでに実施した取組） 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
（今後実施する予定の取組） 特になし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】別紙のとおり					
産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず	コンクリートがら	その他がれき類
全処理委託量		376.025t	24.09t	318.01t	23.16t
①現状	優良認定処理業者への処理委託量	8.84t	24.09t	115.15t	23.16t
	再生利用業者への処理委託量	376.025t	0t	202.86t	23.16t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組） 木くず・コンクリートがらは、再生利用業者に委託。繊維くずに関しては、可能な限り優良認定処理業者に委託した。					
産業廃棄物の種類		廃石膏ボード*	ガラス・陶磁器くず	紙くず	建設系混合廃棄物
全処理委託量		5.79t	21.825t	4.698t	67.14t
①現状	優良認定処理業者への処理委託量	5.79t	21.825t	0t	67.14t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	4.698t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組） 廃石膏ボード、ガラスくず、陶磁器、廃油、混合廃棄物に関しては、可能な限り優良認定処理業者に委託をした。					

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	コンクリートがら	その他がれき類
	全処理委託量	400t	20t	300t	20t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	20t	150t	20t
	再生利用者への処理委託量	400t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 全体的な廃棄物の発生量の抑制に努めるとともに、優良認定処理業者や、再生利用者への委託する割合を増やす。 また、今年度もコンクリートガラに関しては同様の手法で有効利用を行っていく。				
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	10t	30t	5t	70t
	優良認定処理業者への処理委託量	10t	30t	0t	70t
	再生利用者への処理委託量	0t	15t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取り組み) 選別作業を強化し、混合廃棄物として排出する量を削減するとともに、優良認定処理業者へ委託する割合を増やす。				
※事務処理欄					